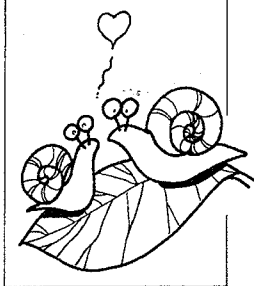


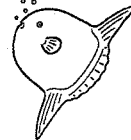
発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
西郷町城北町355



三度!?!: 隠岐へ

副院長

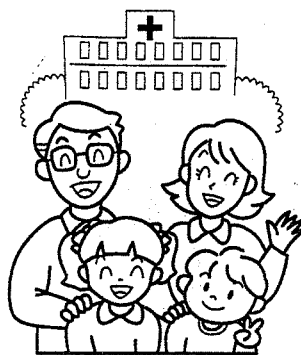
筑後 一徳



四月より、島根県立中央病院から赴任いたしました筑後です。今回で、自身三度目の隠岐病院勤務となります。人情味豊かで風光明媚な隠岐の島で、又、隠岐病院整備計画が検討途中にあり、病院にとっては極めて大切なこの時期に再び勤務できますことを大変うれしく思っております。

隠岐病院は、私が最初に赴任しました十四年前と比べると、スタッフも増え、医療の量も質もかなりグレードアップしてきてはいるのですが、年々高まる住民の皆様の医療に対するニーズに充分対応できていないこと

も数多く、問題は山積しているのも事実です。これらを検証し、住民の皆様には快適な医療が提供できるような職員とともに尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。と同時に隠岐病院に対する建設的で忌憚のないご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。



さて、私自身について少し自己紹介させていただきます。昭和三十五年十一月一日生まれの今年で四十一歳になります。出身地は平田市、中学、高校は一畑電車で松江まで通学していました。大学は栃木県にある自治医科大学、何とか順調に昭和六十年に卒業し、同年島根県立中央病院に就職しました。その後二年の同病院での研修を終えた後は、隠岐病院↓石見町にある邑智病院↓中央病院↓隠岐病院↓中央病院↓隠岐病院（今回）の順で赴任しております。担当は外科、特に前回の中央病院では乳癌診療を中心に行っていました。中央病院では診療科が多いので、外科医はどうしても消化器癌や、乳癌の診療が中心になっていました。趣味は磯釣りです。以前はゴルフ、スキー、テニス等もやりましたが、どれも物にならな

いのと磯釣りに専念するために、他の趣味は全部捨てました。だってゴルフやテニスに最適な季節には真鯛や石鯛を、スキーの季節にはクロ狙いですもの。中央病院勤務時にも一年に十六、七回は隠岐（知夫村が多かったです）に来てました。こち

らに住んでれば半日もあれば本土の釣人垂涎の一級磯で釣りができるのですから、私にとってはまさに極楽です。こちらの方にも精を出してがんばりたいと思いますので皆様よろしくお願ひします。
(目標は石鯛の七〇センチオーバーでしようか!?)



おたより
投稿欄

皆様からのお便り、投稿何でもお待ちしております。

西郷町城北町三五五

隠岐病院内（まめなかの）

宛へ

E-mail

okihosp@mx.miracle.ne.jp

「新規採用者のご紹介」
今年度、副病院長をはじめ十三名の採用がありましたのでご紹介いたします。

かわかみしんじ
川上 伸兒
(産婦人科医師)
三月七日より産婦人科に勤務することになりました。二十一年間松江市にて開業医をやってきましたが、二人の娘も誘拐されてしまい、後継者の無くなったことが勤務することにした大きな理由のひとつです。長女は小児科医になり、ひよっとすると帰るのかな、とほのかな期待を持っていましたが、娘の夢をかなえてやることにしました。当院の産婦人科の患者様は、かなりリスクファクターのある方が多いように感じます。診療に関しては幸い小児科・泌尿器科・外科をはじめ、各科の先生方の協力が得られ、それが何よりの支えです。あともうひとつは、看護部門やパラメディカル部門のスタッフの皆さんとの連携の良さが一人勤務の溝を埋め、潤滑油になって欲しいところです。よろしくお願ひします。



まし のじゅんじ
増野 純二
(内科医師)
二年ぶりの隠岐に、四年ぶりの隠岐病院へ戻ってまいりました。初心に戻りながらも、これまでの経験を少しでも役立てることがと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。



こしのけんじ
越野 健司
(内科医師)
この度、内科に勤務することになりました。二度目の隠岐ですが、前回の都万診療所勤務を生かし、地域との連携を図りながら頑張りたいと思ひます。



つかもとおりえ
塚本 織恵
(内科医師)
趣味は、プロレスとパチンコ、結婚は未定。好きなタイプはわがままな人♡です。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。



たさかまさる
田坂 勝
(小児科医師)
四月からきました小児科の田坂と申します。出身地は広島県広島市です。にこやかな小児科外来を指しますのてよろしくお願ひいたします。



はせがわじろう
長谷川次郎
(眼科医師)
本年四月一日より、当院へ新任となりました。適確な診療を心掛けております。眼科外来はやや待ち時間が多いこともありますが、よろしくお願ひいたします。



かさ はらきょうすけ
笠原 恭輔
(精神科医師)
本年四月一日付で、隠岐病院精神科に赴任いたしました。隠岐は初めてなので何卒、よろしくお願ひいたします。



はただよしえ
畠田 芳枝
(看護婦)
生まれ故郷である隠岐に帰って二年目になります。久し振りのネオンのない静かな所での生活にまだ慣れず、淋しさと物足りなさの毎日を過ごしています。(ネオンが恋しい♡) これからは美しい自然の中で、どう人生をエンジョイしていくかを考えたいと思ひます。自然がありすぎて健康状態もよく、体格まで良くなってきたので少しダイエットしなければ...と、思う今日この頃です。



さて、四月より採用となり隠岐病院で働くことになりましたが、隠岐病院は島内唯一の病院であり、地域の皆様のニーズにお応えしていかなければならないと思ひます。私なりに皆様にお役にたてるよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



小笹 幸子
（看護婦）



本年四月より採用になりました。大阪出身で、隠岐のことは分からないうことが多く、皆様よろしくお願いたします。

陶山 美津子
（看護婦）



初めて隠岐へ来て、早二ヶ月が経ちました。まだ、生活も慣れておらず、仕事もなかなか覚えが悪い私ですが、皆様とても優しく接して下さるので頑張っています。これからもよろしくお願いたします。

飯塚 都
（看護婦）



出身は出雲市で、三年間大阪の看護学校に行き、縁あって隠岐に来ました。未熟ではありますが一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

町田 智英
（看護婦）



今年の四月から一年間、出雲の県立中央病院で研修させていただきました。仕事をはじめから、あっという間に二ヶ月が過ぎたといったかんじです。ここでは勉強会が毎週一回は必ずあったり、先輩や患者様からも毎日たくさんのお話を教えていただき、少しづつではあります。日々成長できています。ありがとうございます。あと少しの期間ですが、患者様から親しまれる看護婦になれるように努力したいと思います。

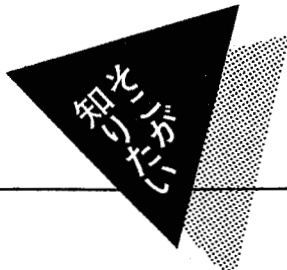


↑新規採用看護婦一名については、より多くの知識と経験を積むために、昨年より行っております「卒後看護婦研修制度」のため、四月からの一年間、島根県立中央病院において研修をしています。皆さんにお会いするのは、平成十四年四月の予定ですのでよろしくお願いたします。↑↑

子供のエックス線撮影時に家族がエックス線防護服を借りることはできませんか。

ご指摘の件につきましては、撮影時にお子様の不安を解消するため、ご家族に介助のご協力をさせていただくことがございます。ご家族にエックス線防護服を着用していただくことにはお断りしますが、再度徹底するよう指導いたします。

引き続きご協力をお願いします。



入院中、違う人の点滴を注射されそうになったが。

ご指摘の件につきましては、間違えて別の患者様の点滴をしようになったことがありました。ご家族から事前に過ちをご指摘いただきました。このようなことは決して起こさないようにいたします。マニュアルの確認も再度いたしました。

自分の飲んでる薬の名前や効用を知りたいが。

ご指摘の件につきましては、薬の名前、効用、服用・使用時の注意事項などの薬剤情報を患者様に提供できるよう準備を進めているところです。今しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

意見箱

回答コーナー

違う人の名前の薬を渡されたが。

ご指摘の件につきましては、患者様の診察券番号（ID番号）をコンピュータに入力するときと、できた薬を照合するときの二つの時点でミスが重なり生じてしまいました。今後、二度とこのようなミスが起きないように反省し努力して参ります。

☆お知らせ☆

皮膚科の診療時間について

（11月までの診察時間）

9：00～予約外の患者様
12：30～再診予約の患者様

注意：患者様が多くなりますと受付を止めさせていただくことがありますのでご了承ください。
皮膚科外来

臨時看護婦さん急募！

一緒に働いていただける看護婦さんを随時募集しております。勤務の時間についてもご希望にあわせることが可能です。是非ご連絡くださいますようお願いしております。

職種：看護婦(士)・准看護婦(士)さん
勤務：外来・病棟(夜勤可能な方)

総婦長 吉田カネ子

異動

退職 四月まで

- * 藤田 美和 (助産婦)
 - * 安食 文香 (パート看護婦)
 - * 桜谷 光一 (臨時調理員)
 - * 藤田 栄子 (臨時看護助手)
 - * 栗岡 裕子 (産婦人科部長)
 - * 清原 芳郎 (副院長)
 - * 福井 千佳 (小児科医長)
 - * 末次 浩 (内科医長)
 - * 今田 敏宏 (内科医長)
 - * 酒井 浩光 (内科医長)
 - * 久保田 倍生 (外科医長)
 - * 佐伯 有祐 (眼科医長)
 - * 山田 武史 (精神科医員)
 - * 本井 幸枝 (総婦長)
 - * 松本 英子 (准看護婦)
- お疲れさまでした…。

採用 五月まで

- * 加藤真紀子 (パート看護婦)
- * 川上 伸兒 (産婦人科部長)
- * 筑後 一徳 (副院長)
- * 増野 純二 (内科医長)
- * 越野 健司 (内科医長)
- * 塚本 織恵 (内科医長)
- * 田坂 勝 (小児科医長)
- * 長谷川次郎 (眼科医長)
- * 笠原 恭輔 (精神科医長)
- * 畠田 芳枝 (看護婦)
- * 小笹 幸子 (看護婦)
- * 荒田理恵子 (臨時看護助手)
- * 滝下 清華 (臨時事務員)
- * 佐渡 洋子 (臨時調理員)
- * 陶山美津子 (看護婦)
- * 飯塚 都 (看護婦)
- * 町田 智英 (看護婦)
- * 藤田 美雪 (臨時准看護婦)



おこがき

最近の言葉から。
先日、骨髄バンクを支援する会の全国協議会がありました。そこでの、女優の東ちづるさんの言葉。「ボランティアとは、何かをしてあげることがボランティアではない。何かを必要としている人と一緒に歩むことがそうなんだ。」と▼私たちはついつい「・・・してあげよう」と考えがち。しかし、それは自然と心の中に立場の優劣をつけている。その言葉を聞いて一瞬ドキッとしました。▼患者様を支援する。私たちはそれを生業としてしているのですが、知らず知らずのうちに「・・・してあげる」と考えている自分に気がつきません。逆に、「・・・してもらっている」と思うこともあります。▼「共に歩む」そのことが本当の意味での、支援を受ける側、する側の成長につながる活動やケアの充実になるのかな、と考えさせられた言葉でした。

東さんと握手をして

舞い上がった、

ミーハーな

M